



# 第4回 清見町文化祭

11月4日(振休)、清見中学校体育館にて「第4回清見町文化祭」を開催しました。

保育園、小・中学校及び町内の文化サークル8団体が、日頃の学習の成果を披露しました。

また今年度は3年に一度の飛騨高山文化芸術祭こだま〜れの開催年にあたり、その一環で飛騨春慶の弦楽器を用いた「飛騨春慶弦楽器カルテット」による演奏が行われ、会場は美しい音色に包まれました。



# 清見町まち協たよみ

第57号  
令和元年12月1日  
清見町  
まちづくり協議会  
事務所：きよみ館  
TEL 77-9516(直通)

あいさつでこころあたたかキミとボク

清見小学校

6年生 新井 日胡

## わくわくつうしん

11月14日(木) おもちゃづくり  
11月のわくわく教室は福祉センターでおもちゃづくりにチャレンジ！6組の親子が参加しました。

おもちゃはびっくり風船・マラス・紙飛行機の豪華三本立て！材料はストローや紙コップ、乳酸飲料の容器などおうちにあるもので出来ちゃうんです。  
作ったおもちゃはシールやマジックペンでデコレーション、世界で一つのオリジナルに！とても素敵に完成しました。  
わくわくのおともだちは自分たちで作ったびっくり風船を膨らませたり、紙飛行機を飛ばして遊んだよ。とっても楽しかったね！



## 寿りんごの収穫作業

11月15日(金)、まち協で管理している果樹園にて、りんご栽培の集大成、清見中学校全校生徒による寿りんごの収穫作業を行いました。  
生徒たちは黄色いあじかを肩に、りんごをもち取っていきます。  
中には脚立を駆使し、自分たちの身長以上の高い位置のりんごにチャレンジする、頼もしい姿みられました。  
収穫したりんごはブルーシートに広げ、大きさによってに分類された採集コンテナに納めていきます。  
50個以上あったコンテナは見る見るうちに満杯になりました。  
作業の間にはお手伝いの人たちにむいてもらったりりんごの試食。トレーいっぱい盛られたりんごは生徒たちに大人気で、あっという間になくなっていきました。



## 第5回 ソフトミニバレーのつどい

11月17日(日)、清見B&G海洋センターにて、「第5回 ソフトミニバレーのつどい」を開催しました。  
中学生を含む一般8チーム、ジュニア3チームが参加し、一般A・Bブロック、そしてジュニアブロックの三箇所に分かれ、リーグ戦で行いました。  
熱い闘いが繰り広げられ、会場のいたるところで歓声が上がりました。  
上位入賞チーム、及びジュニア優勝チームは下記の通りです。おめでとうございます！



上位入賞チーム

優勝	mammys フェーチャリング M
準優勝	福寄 B
3位	清見中バレー部 A



ジュニア優勝チーム

優勝	円道
----	----



11月17日(日)、文化財委員・町内会のみなさん計15人が、小鳥峠水芭蕉群生地にて春から秋の間に張っていた、猪など獣対策の電柵撤去及び歩道橋の清掃作業を行いました。



前日の雨で足元が滑りやすい上に、霧の深い悪天候でしたが、みなさんによる懸命な作業のおかげで、無事に完了する事ができました。



11月20日(水)、清見小にて長寿委員会主催のふれあい交流会を行いました。4年生の児童25人と高齢者18人が参加しました。  
体育館に集合し、6つのグループに分かれ、子ども達が考えた手づくりのゲームを楽しみました。  
その後、多目的室に移動し、テーブルを囲んだ給食タイム。子ども達と高齢者のみなさんは美味しい給食を食べながら語り、肩たたきでふれあいました。  
最後に、子ども達が高齢者のみなさんへのお礼として、今大人気の「パプリカ」を、歌とダンスで元気いっぱい披露しました。



## ふれあい交流会

## 気持ちのいい日は朝のあいさつから 朝のハイタッチあいさつ運動

同日の登校時、清見中学校玄関前にて、清見あったか子育て会議の土田靖さんをはじめ、まち協役員や教職員、PTA役員の皆さん、生徒会による、全校生徒へのハイタッチあいさつを行いました。

お互いの手のひらを合わせタッチしながら、元気なあいさつが交わされるハイタッチあいさつは、清見小・中学校が毎朝恒例で行っている、誇るべきものです。



## 人権タウンミーティング

11月21日(木)、清見中学校体育館にて、清見小・中の子ども達やその保護者、地域の人々を交えた、「人権タウンミーティング」を行いました。

第1部は2016年開催のリオデジャネイロパラリンピックの閉会式等で、日本中に鮮烈な印象を与えた義足のダンサー、大前光市さん(下呂市出身)の講演です。

大前さんは20代の頃、あるバレエ団の最終オーディションの当日に交通事故に遭い左足を切断、義足になりました。絶望の淵から這い上がり試行錯誤を繰り返しながら、世界的に活躍するダンサーとして名を馳せるようになった大前さんの話と素晴らしいパフォーマンスの数々に、会場は感動の渦に包まれました。

第2部は、参加者がグループに分かれて人権集会が行われ、それぞれの人権に対する思いを伝えました。

